

## 《任意後見監督人選任申立書セット》

- 1 任意後見監督人選任申立書
- 2 申立事情説明書
- 3 主治医の方へ  
診断書
- 4 「本人情報シート」の作成を依頼された福祉関係者の方へ  
本人情報シート
- 5 任意後見受任者事情説明書
- 6 親族関係図
- 7 収支予定表
- 8 財産目録
- 9 被相続人の遺産目録・・・(申立ての動機が遺産分割協議等の場合)

千葉家庭裁判所

(平成31年4月)







- 3 本人の病歴等について（わかる範囲で記入してください。）  
 （例：平成 年頃，脳梗塞 令和 年 月～ 月 病院入院）

- 4 本人の経歴（生活歴，職歴）について（わかる範囲で記入してください。）

| 年月日 | 学歴・職歴             | 年月日 | 婚姻歴，家族歴など |
|-----|-------------------|-----|-----------|
| ・ ・ | 最終学歴（ ）を<br>卒業・中退 | ・ ・ |           |
| ・ ・ |                   | ・ ・ |           |
| ・ ・ |                   | ・ ・ |           |
| ・ ・ |                   | ・ ・ |           |
| ・ ・ |                   | ・ ・ |           |

- 5 本人の申立てに対する認識について（本人申立ての場合は記入不要）

(1) 本人は任意後見契約を締結したことを記憶していますか。

記憶している。 記憶していない。

(2) 本人はこの申立てがされることを知っていますか。

知っている。

本人は，任意後見監督人を選任すること（任意後見契約を発効すること）  
に同意していますか。

同意している。

反対している。

不明

知らない。

理解できる状態ではない。

知らせていない。

その他（ ）

- 6 本人の現在の状況について

申立人又は介助者と一緒に裁判所に来て，事情を話すことができる。

裁判所に来ることはできないが，入所施設又は自宅であれば，事情を話すことができる。

会話は成り立つ。 話はできるが，意味が通じない。

言葉による意思表示ができない。

7 本人の親族について

(1) 申立人以外で、本人の配偶者・親・子・兄弟姉妹にあたる親族はいますか。また、その親族はこの申立てに同意していますか。

(書ききれなければ別紙に書いてください。)

| 氏名 | 続柄 | 〒・住所・電話番号 | 申立てへの意向  |
|----|----|-----------|----------|
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |
|    |    | 〒         | 賛成・反対・不明 |

(2) 本人の療養看護、財産管理等について、親族の間に意見の相違がありますか。

ない

ある（誰と誰の間でどのような意見の相違があるか書いてください。）

8 その他、申立てに関して困っていること、家庭裁判所に特に注意してほしいことがあれば記入してください。

# 主治医の方へ

## 1 診断書について

成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害、発達障害などによって物事を判断する能力が十分でない方(ここでは「ご本人」といいます。)について、ご本人の権利を守る援助者(「成年後見人」等)を選ぶことで、ご本人を法律的に支援する制度です。

家庭裁判所は、後見開始等の審判をするには、ご本人の精神の状況を的確に把握する必要があり、そのため、制度利用の申立てにあたっては、ご本人の診断書を提出していただいております。依頼がありましたらよろしくお願いたします。なお、成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、4月1日から診断書の改定がされました。

## 2 診断書書式について

家庭裁判所は、医師の作成した診断書等を参考に、ご本人について、精神上的障害の有無や判断能力の低下の有無・程度について判断することになります。

「診断書(成年後見制度用)」の書式を利用して診断書を作成していただくようお願いいたします。

## 3 診断書記載ガイドラインについて

「診断書記載ガイドライン」は、後見関係事件の手続で家庭裁判所が判断する際の資料となる診断書の記載の一般的な基準を示したもので、それぞれの記載事項の意味や記載の要領を示しています。

また、後見ポータルサイト(<http://www.courts.go.jp/kouken/>)から、「成年後見制度における診断書作成の手引」「診断書書式」(Word形式)のダウンロードができます。診断書作成の依頼があった場合のフローチャートや診断書記載ガイドラインに沿って作成した診断書記載例も掲載されていますので、ご参照ください。

## 4 本人情報シートについて

診断書作成の依頼を受ける際に、依頼者から、福祉関係者が作成した「本人情報シート」の提供を受けることがあります。この本人情報シートは、診断書を作成する医師に対し、ご本人の生活状況等に関する情報を提供し、医学的判断を行う際の参考としていただくために、家庭裁判所が平成31年4月から導入したものです。

本人情報シートの提供を受けた場合には、診断の参考資料としてご活用ください。なお、記載内容については、本人情報シートの作成者にお尋ねください。

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1 氏名   | 男・女                  |
|  | 年 月 日生 ( 歳)          |
| 住所   |                      |
| 2 医学的診断                                      |                      |
| 診断名 ( 判断能力に影響するものを記載してください。 )                |                      |
| 所見 ( 現病歴, 現在症, 重症度, 現在の精神状態と関連する既往症・合併症など )  |                      |
| 各種検査   |                      |
| 長谷川式認知症スケール                                  | ( 点 ( 年 月 日実施) 実施不可) |
| MMS E  | ( 点 ( 年 月 日実施) 実施不可) |
| 脳の萎縮または損傷の有無                                 |                      |
| あり ( 部分的にみられる                                | 全体的にみられる 著しい 未実施)    |
| なし   |                      |
| 知能検査   |                      |
| その他  |                      |
| 短期間内に回復する可能性                                 |                      |
| 回復する可能性は高い                                   | 回復する可能性は低い 分からない     |
| (特記事項)                                       |                      |
| 3 判断能力についての意見                                |                      |
| 契約等の意味・内容を自ら理解し, 判断することができる。                 |                      |
| 支援を受けなければ, 契約等の意味・内容を自ら理解し, 判断することが難しい場合がある。 |                      |
| 支援を受けなければ, 契約等の意味・内容を自ら理解し, 判断することができない。     |                      |
| 支援を受けても, 契約等の意味・内容を自ら理解し, 判断することができない。       |                      |
| (意見) 慎重な検討を要する事情等があれば, 記載してください。             |                      |





判定の根拠

(1) 見当識の障害の有無

あり ( まれに障害がみられる 障害がみられるときが多い 障害が高度 )  
なし

[ ]

(2) 他人との意思疎通の障害の有無

あり ( 意思疎通ができないときもある 意思疎通ができないときが多い  
意思疎通ができない )  
なし

[ ]

(3) 理解力・判断力の障害の有無

あり ( 問題はあるが程度は軽い 問題があり程度は重い 問題が顕著 )  
なし

[ ]

(4) 記憶力の障害の有無

あり ( 問題はあるが程度は軽い 問題があり程度は重い 問題が顕著 )  
なし

[ ]

(5) その他 ( 上記以外にも判断能力に関して判定の根拠となる事項等があれば記載してください。 )

[ ]

参考となる事項 ( 本人の心身の状態、日常的・社会的な生活状況等 )

「本人情報シート」の提供を 受けた 受けなかった  
( 受けた場合には、その考慮の有無、考慮した事項等についても記載してください。 )

以上のとおり診断します。

年 月 日

病院又は診療所の名称・所在地

担当診療科名

担当医師氏名

印

【医師の方へ】

診断書の記載例等については、後見ポータルサイト (<http://www.courts.go.jp/koukenp/>) からダウンロードできます。

参考となる事項欄にある「本人情報シート」とは、本人の判断能力等に関する診断を行う際の補助資料として、本人の介護・福祉担当者が作成するシートです。提供があった場合は、診断への活用を御検討ください。

家庭裁判所は、診断書を含む申立人からの提出書類等に基づき、本人の判断能力について判断します ( 事

## 「本人情報シート」の作成を依頼された福祉関係者の方へ

このたびは「本人情報シート」の作成に御協力いただき、ありがとうございます。

### 1 本人情報シートについて

本人情報シートは、職務上の立場から本人を日頃より支援されている福祉関係者の方に、本人の生活状況等に関する情報を記載していただくための書面として4月1日から新たに導入されたものです。

福祉関係者に作成していただいた本人情報シートは、本人の精神上的障害の有無や鑑定の要否を判断するための資料となる診断書を作成する医師に提供され、医学的診断の際の資料となるだけでなく、成年後見制度の利用の適否に関する資料や家庭裁判所に提出され、裁判官が審理をする際の資料にもなります。

作成していただいた本人情報シートは、直接家庭裁判所にお送りいただくのではなく、作成を依頼した方にお渡しください。

なお、診断の参考時に医師から本人情報シートの記載内容についての問い合わせが入ることも考えられますので、ご対応をお願いいたします。

### 2 本人情報シート記載ガイドライン

「本人情報シート記載ガイドライン」は、本人の判断能力等を診断するに当たって、参考となる内容の記載についての一般的な基準を示したもので、記載事項の意味や記載の要領を示しています。

また「後見ポータルサイト」(<http://www.courts.go.jp/koukenp/>)から「本人情報シート作成の手引」、「本人情報シート」(Word形式)のダウンロードができます。本人情報シート記載ガイドラインに沿って作成した実務に比較的多く見られる事例を想定した記載例も掲載されていますので、ご参照ください。

## 本人情報シート（成年後見制度用）

この書面は、本人の判断能力等に関して医師が診断を行う際の補助資料として活用するとともに、家庭裁判所における審理のために提出していただくことを想定しています。

この書面は、本人を支える福祉関係者の方によって作成されることを想定しています。

本人情報シートの内容についてさらに確認したい点がある場合には、医師や家庭裁判所から問合せがされることもあります。

作成日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

|  |  |
|--|--|
| <p><b>本人</b><br/>氏名： _____<br/>生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> | <p><b>作成者</b><br/>氏名： _____ 印<br/>職業(資格)： _____<br/>連絡先： _____<br/>本人との関係： _____</p> |
|--|--|

### 1 本人の生活場所について

自宅（自宅での福祉サービスの利用 \_\_\_\_\_ あり \_\_\_\_\_ なし）

施設・病院

施設・病院の名称 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

### 2 福祉に関する認定の有無等について

介護認定（認定日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月）

要支援（1・2） \_\_\_\_\_ 要介護（1・2・3・4・5） \_\_\_\_\_

非該当

障害支援区分（認定日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月）

区分（1・2・3・4・5・6） \_\_\_\_\_ 非該当 \_\_\_\_\_

療育手帳・愛の手帳など（手帳の名称 \_\_\_\_\_）（判定 \_\_\_\_\_）

精神障害者保健福祉手帳（1・2・3 級） \_\_\_\_\_

### 3 本人の日常・社会生活の状況について

#### (1) 身体機能・生活機能について

支援の必要はない \_\_\_\_\_ 一部について支援が必要 \_\_\_\_\_ 全面的に支援が必要 \_\_\_\_\_

（今後、支援等に関する体制の変更や追加的対応が必要な場合は、その内容等）

#### (2) 認知機能について

日によって変動することがあるか： \_\_\_\_\_ あり \_\_\_\_\_ なし

（ ありの場合は、良い状態を念頭に以下のアからエまでチェックしてください。

エの項目は裏面にあります。）

##### ア 日常的な行為に関する意思の伝達について

意思を他者に伝達できる \_\_\_\_\_ 伝達できない場合がある \_\_\_\_\_

ほとんど伝達できない \_\_\_\_\_ できない \_\_\_\_\_

##### イ 日常的な行為に関する理解について

理解できる \_\_\_\_\_ 理解できない場合がある \_\_\_\_\_

ほとんど理解できない \_\_\_\_\_ 理解できない \_\_\_\_\_

##### ウ 日常的な行為に関する短期的な記憶について

記憶できる \_\_\_\_\_ 記憶していない場合がある \_\_\_\_\_

ほとんど記憶できない \_\_\_\_\_ 記憶できない \_\_\_\_\_

エ 本人が家族等を認識できているかについて  
正しく認識している                      認識できていないところがある  
ほとんど認識できていない              認識できていない

- (3) 日常・社会生活上支障となる精神・行動障害について  
支障となる行動はない                      支障となる行動はほとんどない  
支障となる行動がときどきある              支障となる行動がある  
(精神・行動障害に関して支援を必要とする場面があれば、その内容、頻度等)

- (4) 社会・地域との交流頻度について  
週1回以上              月1回以上              月1回未満

- (5) 日常の意思決定について  
できる                      特別な場合を除いてできる                      日常的に困難                      できない

- (6) 金銭の管理について  
本人が管理している                      親族又は第三者の支援を受けて本人が管理している  
親族又は第三者が管理している  
(支援(管理)を受けている場合には、その内容・支援者(管理者)の氏名等)

- 4 本人にとって重要な意思決定が必要となる日常・社会生活上の課題  
(課題については、現に生じているものに加え、今後生じ得る課題も記載してください。)

- 5 家庭裁判所に成年後見制度の利用について申立てをすることに關する本人の認識  
申立てをすることを説明しており、知っている。  
申立てをすることを説明したが、理解できていない。  
申立てをすることを説明しておらず、知らない。  
その他  
(上記チェックボックスを選択した理由や背景事情等)

- 6 本人にとって望ましいと考えられる日常・社会生活上の課題への対応策  
(御意見があれば記載してください。)

# 任意後見受任者事情説明書

この書面は、必ず任意後見受任者自身が作成してください。  
あてはまる項目の□に☑印を付け、空欄には実情を記入してください。

記入年月日：令和 年 月 日 任意後見受任者氏名： \_\_\_\_\_ 印

1 あなたが該当するものに☑印を付けてください。

未成年者である。

家庭裁判所で成年後見人・保佐人・補助人を解任されたことがある。

破産手続開始の決定を受けたが、免責許可の決定を受けていない。

本人に対して訴訟をしている、又はしたことがある。

配偶者や直系血族（親、子、祖父母等）が本人に対して訴訟をしている、又はしたことがある。

上のいずれにも該当しない。

2 身上・経歴等

(1) あなたの家族を記入してください。

| 氏名 | 年齢 | 続柄 | 職業（勤務先、学校名） | 同居・別居 |
|----|----|----|-------------|-------|
|    |    |    |             |       |
|    |    |    |             |       |
|    |    |    |             |       |
|    |    |    |             |       |
|    |    |    |             |       |

(2) あなたの経歴（最終学歴，職歴等）を記入してください。

| 年月日 | 最終学歴・主な職歴  | 備考 |
|-----|------------|----|
| ・ ・ | 最終学歴（ ）を卒業 |    |
| ・ ・ |            |    |
| ・ ・ |            |    |
| ・ ・ |            |    |
| ・ ・ |            |    |

(3) あなたの健康状態について記入してください。

良好である。

良好ではない。

{ 具体的内容 }  
}

(4) あなたの経済状態について記入してください。

収入 年収 約 \_\_\_\_\_ 万円

あなたの収入だけでは生計を維持できない場合

生活費を負担している人の氏名 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_

負担している人の年収 約 \_\_\_\_\_ 万円

資産 不動産 無 有( 自宅 それ以外 \_\_\_\_\_ )

預貯金 合計約 \_\_\_\_\_ 万円

株式・国債等 無 有

負債

| 借入先 | 借入目的 | 負債額 |
|-----|------|-----|
|     |      | 万円  |
|     |      | 万円  |

あなたが本人のために立て替えて支払ったものがあれば、その金額、内容及びその返済を求める意思について記入してください。

| 内容 | 金額 | 返済を求める意思 | 資料の有無 |
|----|----|----------|-------|
|    | 円  | 有 無      | 有 無   |
|    | 円  | 有 無      | 有 無   |

### 3 本人に関する今後の方針や計画について

(1) 身上監護の方針や計画(今後の生活の拠点、必要となる医療や福祉サービス、身の回りの世話等)を具体的に記入してください。

.....

.....

.....

.....

(2) 財産管理の方針や計画(大きな収支の変動、多額の入金の予定があれば、その管理方針等)を具体的に記入してください。

未分割の遺産がある場合は、申立書式中の「遺産目録」に、遺産の内容を記入し、申立書とともに提出してください。

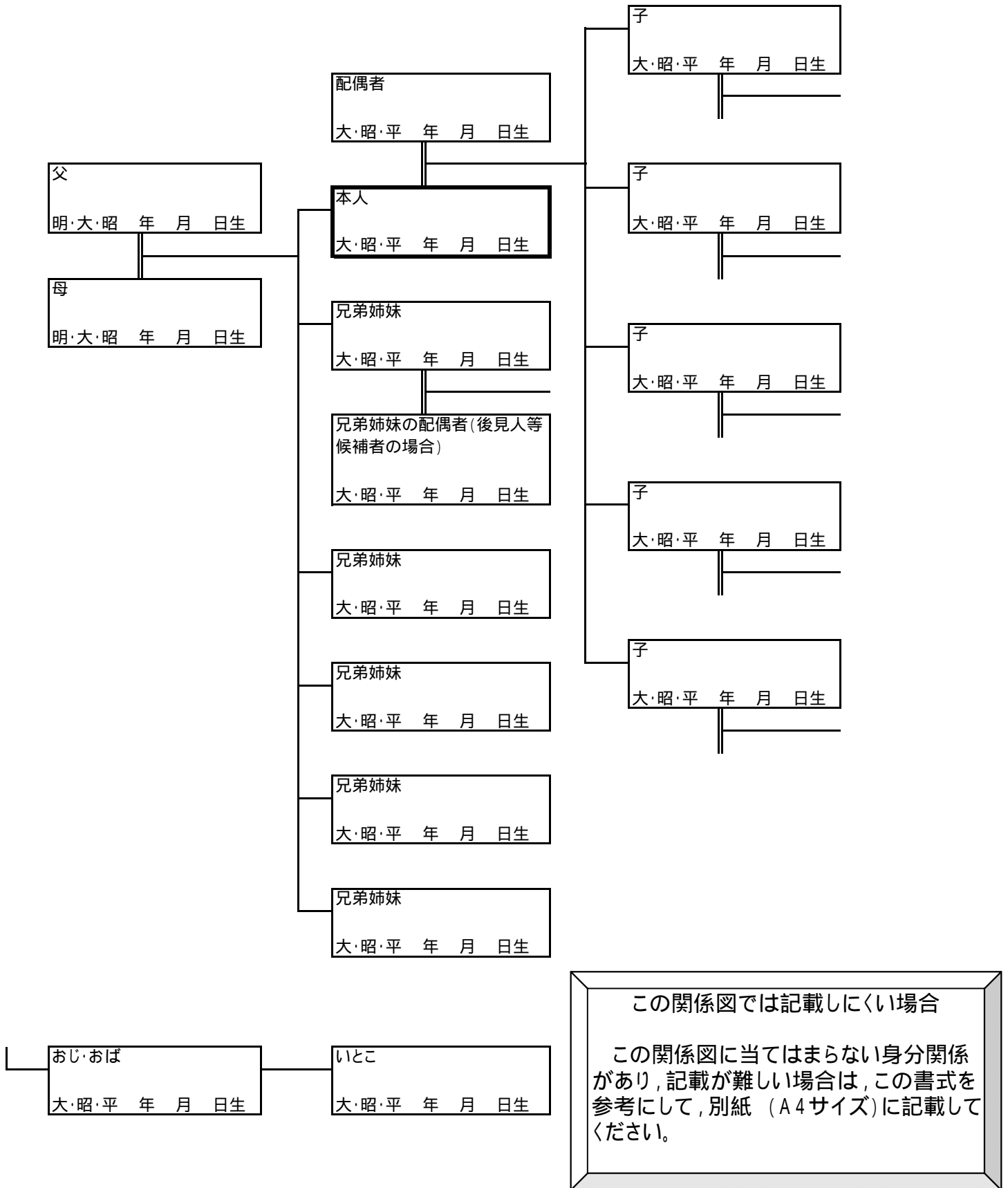
.....

.....

.....

# 親族関係図

本人の推定相続人は必ず全員記載してください。



【 本人： \_\_\_\_\_ 】

## 収 支 予 定 表

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 作成者氏名 \_\_\_\_\_

本人の1年間の収支の見通しを分かる範囲で記入してください。

## 1 収入（年間予定）

| 種 別        | 支給者の氏名・名称等 | 金額（見込額） | 備 考 |
|------------|------------|---------|-----|
| 厚生年金       |            | 年 円     |     |
| 国民年金       |            | 年 円     |     |
| その他の年金     |            | 年 円     |     |
| 給与収入       |            | 年 円     |     |
| 賃料         |            | 年 円     |     |
| 高額医療費返還    |            | 年 円     |     |
|            |            | 年 円     |     |
|            |            | 年 円     |     |
|            |            | 年 円     |     |
| 収入予定合計（年額） |            | 円（A）    |     |

## 2 支出（年間予定）

| 種 別        | 支 払 先 | 金額（見込額） | 備 考 |
|------------|-------|---------|-----|
| 医療費        |       | 年 円     |     |
| 日常生活費      |       | 年 円     |     |
| 施設利用料      |       | 年 円     |     |
| 住居費        |       | 年 円     |     |
| 税金         |       | 年 円     |     |
| 健康保険料      |       | 年 円     |     |
| 介護保険料      |       | 年 円     |     |
| その他保険料     |       | 年 円     |     |
|            |       | 年 円     |     |
|            |       | 年 円     |     |
| 支出予定合計（年額） |       | 円（B）    |     |

収入（A） - 支出（B） = 約 円



## 財 産 目 録

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 作成者氏名 \_\_\_\_\_

本人の全ての財産（負債）について記載してください。

預貯金については、通帳の取引履歴を全て記帳した上で、通帳の表紙、表紙の裏面（見返し）及び過去1年分の取引履歴が記帳されている全てのページのコピーを添付してください（定期預金を含む全ての預貯金について提出してください。）。

預貯金以外の財産（負債）については、その内容が分かる資料を添付してください。

書ききれない場合は、継続用紙を使用してください。

### 1 預貯金・現金 過去1年分の預貯金通帳のコピーを添付してください。

| 金融機関の名称 | 支店名 | 口座種別 | 口座番号 | 申立時の残高（円） | 管理者 | 備考 |
|---------|-----|------|------|-----------|-----|----|
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
| 現 金     |     |      |      |           |     |    |
| 合 計     |     |      |      |           |     |    |

### 2 株式，投資信託，公社債，各種金融資産

残高が分かる明細書（有価証券取引残高報告書など）のコピーを添付してください。

| 種 類 | 銘柄，振出人等 | 数量（口数，株数，額面金額等） |
|-----|---------|-----------------|
|     |         |                 |
|     |         |                 |
|     |         |                 |

### 3 不動産（土地）

不動産登記事項証明書及び固定資産評価証明書（又は納税通知書のコピー）を添付してください。

| 所 在 | 地 番 | 地 目 | 地積（㎡） | 備 考 |
|-----|-----|-----|-------|-----|
|     |     |     |       |     |
|     |     |     |       |     |
|     |     |     |       |     |

### 4 不動産（建物）

不動産登記事項証明書及び固定資産評価証明書（又は納税通知書のコピー）を添付してください。

| 所 在 | 家屋番号 | 種 類 | 床面積（㎡） | 備 考 |
|-----|------|-----|--------|-----|
|     |      |     |        |     |
|     |      |     |        |     |
|     |      |     |        |     |

### 5 保険契約 保険証券等のコピーを添付してください。

| 保険会社の名称 | 保険の種類 | 証券番号 | 保険金額（受取額）（円） | 受取人 |
|---------|-------|------|--------------|-----|
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |

### 6 債権・負債 残高が分かる明細書等のコピーを添付してください。

| 債権者・債務者名 | 債権・負債の内容 | 債権・負債額（円） | 返済月額（円） |
|----------|----------|-----------|---------|
|          |          |           |         |
|          |          |           |         |
|          |          |           |         |

## 1 預貯金・現金 過去1年分の預貯金通帳のコピーを添付してください。

| 金融機関の名称 | 支店名 | 口座種別 | 口座番号 | 申立時の残高(円) | 管理者 | 備考 |
|---------|-----|------|------|-----------|-----|----|
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
|         |     |      |      |           |     |    |
| 現金      |     |      |      |           |     |    |
| 合計      |     |      |      |           |     |    |

## 2 株式, 投資信託, 公社債, 各種金融資産

残高が分かる明細書(有価証券取引残高報告書など)のコピーを添付してください。

| 種類 | 銘柄, 振出人等 | 数量(口数, 株数, 額面金額等) |
|----|----------|-------------------|
|    |          |                   |
|    |          |                   |
|    |          |                   |

## 3 不動産(土地)

不動産登記事項証明書及び固定資産評価証明書(又は納税通知書のコピー)を添付してください。

| 所在 | 地番 | 地目 | 地積(m <sup>2</sup> ) | 備考 |
|----|----|----|---------------------|----|
|    |    |    |                     |    |
|    |    |    |                     |    |
|    |    |    |                     |    |
|    |    |    |                     |    |

## 4 不動産(建物)

不動産登記事項証明書及び固定資産評価証明書(又は納税通知書のコピー)を添付してください。

| 所在 | 家屋番号 | 種類 | 床面積(m <sup>2</sup> ) | 備考 |
|----|------|----|----------------------|----|
|    |      |    |                      |    |
|    |      |    |                      |    |
|    |      |    |                      |    |

## 5 保険契約 保険証券等のコピーを添付してください。

| 保険会社の名称 | 保険の種類 | 証書番号 | 保険金額(受取額)(円) | 受取人 |
|---------|-------|------|--------------|-----|
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |

## 6 債権・負債 残高が分かる明細書等のコピーを添付してください。

| 債権者・債務者名 | 債権・負債の内容 | 債権・負債額(円) | 返済月額(円) |
|----------|----------|-----------|---------|
|          |          |           |         |
|          |          |           |         |



## 1 預貯金・現金

| 金融機関の名称 | 支店名 | 口座種別 | 口座番号 | 残高(円) | 管理者 | 備考 |
|---------|-----|------|------|-------|-----|----|
|         |     |      |      |       |     |    |
|         |     |      |      |       |     |    |
|         |     |      |      |       |     |    |
|         |     |      |      |       |     |    |
| 現金      |     |      |      |       |     |    |
| 合計      |     |      |      |       |     |    |

## 2 株式, 投資信託, 公社債, 各種金融資産

| 種類 | 銘柄, 振出人等 | 数量(口数, 株数, 額面金額等) |
|----|----------|-------------------|
|    |          |                   |
|    |          |                   |
|    |          |                   |

## 3 不動産(土地)

| 所在 | 地番 | 地目 | 地積(m <sup>2</sup> ) | 備考 |
|----|----|----|---------------------|----|
|    |    |    |                     |    |
|    |    |    |                     |    |
|    |    |    |                     |    |

## 4 不動産(建物)

| 所在 | 家屋番号 | 種類 | 床面積(m <sup>2</sup> ) | 備考 |
|----|------|----|----------------------|----|
|    |      |    |                      |    |
|    |      |    |                      |    |
|    |      |    |                      |    |

## 5 保険契約

| 保険会社の名称 | 保険の種類 | 証書番号 | 保険金額(受取額)(円) | 受取人 |
|---------|-------|------|--------------|-----|
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |
|         |       |      |              |     |

## 6 債権・負債

| 債権者・債務者名 | 債権・負債の内容 | 債権・負債額(円) | 返済月額(円) |
|----------|----------|-----------|---------|
|          |          |           |         |